

# 農林水産大臣賞

いちりやま

一里山地区ふるさとづくり推進協議会（宮崎県宮崎市）

みやざき

シバザクラの植栽を通じた活動で、ふたつの集落が一丸となって地域のコミュニティを強化、地域活性化に寄与。

## 1. 地区の概要

一里山地区は、宮崎市西端に位置する久木野集落と小田元集落の2集落からなり、高台に広がる畑地帯では地元名産の「一里山茶」を中心とした農産物の栽培や、繁殖牛や肥育牛、養鶏の畜産業も行われている。

## 2. 団体の概要

協議会は2集落の全101世帯で構成され、役員は年齢が30代から90代、職業も農家や会社員等多岐にわたり、毎月役員会を開催することで合意形成・意思決定の仕組みを確立している。補助金を活動財源に農村景観保全活動を中心としたむらづくりを継続している。

## 3. 団体の取り組み

- もともと女性数人が自宅周辺に植栽していたシバザクラに着目し、現在では茶畑が広がる農村において約2 kmにわたって15万本が植栽され、美しい農村景観を形成している。
- 毎年、開花の時期に併せて行われる「シバザクラまつり」には、県内外から約1万人の観光客が訪れ、協議会の一大イベントとなっている。「一里山茶」ほか地元農産物のPR・販売も行われ、出品する高齢農家の営農継続の動機付けにもなっている。
- 住民総出で協力して取り組む畦畔の草刈りや水路の泥上げ等の保全活動は、荒廃農地の抑止や害虫の発生抑止に繋がり、農業に適した環境が維持されている。
- 両集落の住民が一丸となり、イベント運営や農村景観保全活動に取り組むことで絆も深まり、地域のコミュニティが強化され、若者の愛郷心を育み地域に留まるきっかけとなり若い担い手の確保にも繋がっている。
- 協議会の活動が評価され、各種表彰を受賞しており、美しい農村景観を利用したむらづくりの先進地として県内外のグリーン・ツーリズムや関係団体の視察研修を受け入れている。



シバザクラまつりでの農産物販売



シバザクラロードの風景



住民一丸となった景観保全活動